



第1号

いざ、大道芸のまちづくり！

静岡の日常の大道芸を支援しようと今年一月に発足したNPO(民間非営利団体)「しずおか大道芸のまちをつくる会」が、七月から静岡市青葉通りでの実地活動を開始した。青葉の一面を借り切って、地元パフォーマーの大道芸をサポートするとともに、遠方からも安心して大道芸をやりに来られる環境をつくらうという試み。ようやく本格始動したと言える会の活動を、伏見典晃代表がリポートする。

七月二十二日(日)

今日は「しずおか大道芸のまちをつくる会」の初めての実地活動である。青葉通りに、会のスタッフ五人が集まった。

この日は同時に、参議院選挙前最後の日曜日でもある。どの候補者も最後の追い込みなのか、青葉通りでも大道芸会場のすぐ側で熱弁を奮っている。そんな場でのパフォーマンスに、どれだけ人が振り向いてくれるのか。その上、暑い。とてつもなく暑い。そんな厳しい状況の中、午後二時すぎ、大道芸が始まっ

た。

今日のパフォーマーは、TOMI 刃(アールズ)。

まずは「OMI。暑いためか、選挙演説と混じり合う音声のためか、なかなか人が立ち止まらない。私達サポートスタッフも何もすることができず、なんかさみしい。しかし、時間が経つにつれ、立ち止まって見てくれる人も出てきた。

刃sは、静大生の男女コンビのジャグラー。まだコンビを組んで間もないせいか、「ところどこ

ろほほ笑ましい道具の落下もあ

ったが、一生懸命やってくれた。悪条件の中、頑張ってくれたパフォーマーに感謝。そして、会の仕事としては、現場ではあまり出来ないことがないことを痛感した。でも、ゴミ拾いや、道具の運搬など、些細なことでもいい、パフォーマーの力になっていけたらと思う。

* *

七月二十九日(日)

今日は、先週とうって変わって曇りで比較的涼しい。参院選投

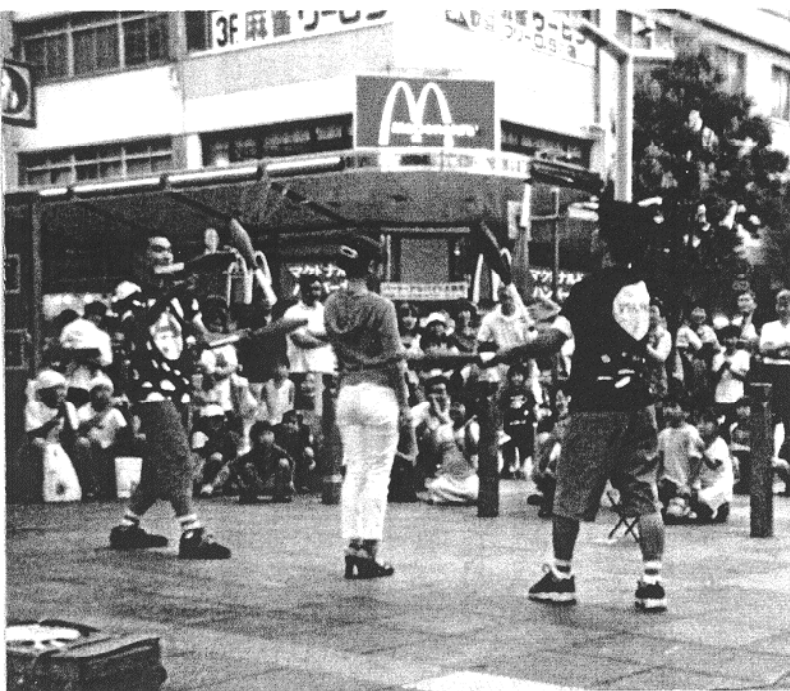
票日なので、選挙演説もない。

この日のパフォーマーは、竜半、ダブルチキン、s、彦一団子、ジジ、なんと嬉しいことに五組もいた。青葉通り入口の杭にくくりつけたホワイトボードに出演者の名前を書くペンも弾む。

トップバッターは、静岡出身、現在は大阪の大学生、竜半。パフォーマンスが進むに連れ、どんどん人が集まってきて、盛り上がった。オリジナリティあふれるボールのジャグリングが素晴らしい。

続くダブルチキン、そして彦一団子は、もうまちなかではお馴染みのパフォーマー。いつも通り楽しいパフォーマンスを見せてくれた。

sは、今日の大道芸の情報をインターネットで得て観に来てたのだが、友人の彦一団子の勧めで、飛び入り参加することになった。即興のジャグリング。パフォーマンスで大いに盛り上げてくれた。夕方になって、雨が降り出してしまった。



青葉通りでパフォーマンスするダブルチキン

しかし、最後の出演予定のジジが、まだパフォーマンスをしていない。雨は止みそうにない。小降りではあるが、道行く人の足を止めるのは難しいだろう。誰もが今日の大道芸は終了だと思っていたところ…ジジは、「やります」という。

実は彼女、この日、大道芸初挑戦なのだった。夜遅くまで準備をしてきたらしい。道に立つという気持ちに持ってくるまで、大きなプレッシャーと闘っただろう。その高まったハートが、雨という悪条件に打ち勝つたに違いない。

ジジのパフォーマンスは、愛らしいセサミストリートのような手作り人形を使つてのジャグリングだった。始まった時点で観客は、ほとんどがパフォーマーと当会スタッフ。しかし時間とともに、通りすがりの人も足を止めて観ていってくれた。小雨の降りしきる中、お客の応援と彼女の芸風とが相まって、ほのぼのとした温かい空間が出来上がっていた。

こうして貴重な大道芸デビューを見守ることができたのは、大道芸ファンとして光栄である。これから先、もつともつとたくさんさんの大道芸人が青葉通りから生まれていくことを望む。

文と写真(伏見典晃)



Misato and Shin

静岡のストリートに興味のある人なら、日曜日の青葉通りで歌うこの夫婦デュオを一度は見たことがあるだろう。

ひととき大きな聴衆の輪。ひととき大きな歌声。ひととき大きなアフロヘア。そして、彼らは静岡のストリート・シーンに、ひととき大きな影響を与えてきた。

* * *
「♪君に届くといいな、笑顔とHappy Beat」

Shin(大浪晋)のギター&ヴォーカルに、Misato(大浪美里)のヴォーカルが紡がれると、ストリートの一角に、磁場が生まれたように人が集まり始めた。通りがかりの男性、ファンらしき女性二人組、小さな子どもを連れた家族…いつの間にか二十人ほどが足を止めて聴き入っている。

日曜日、静岡市青葉通り、午後三時過ぎ。Misato&Shinの路上ライブは、休憩を挟んで第二部が始まったところだ。オリジナル曲「笑顔とHappy Beat」(作

詞・作曲/Shin)。二人の心地よいハーモニーに加えて「♪Party party party…」という連呼のリズムが、聴衆を日常から非日常の世界に引き込んでゆく。

「みんなパーティーしようぜって気持ちで」路上ライブをやっている、と晋は語る。だからこそ、楽しませること、エンターテイメント性を重視する。お笑い芸人という「持ちネタ」的なものまで随所に挟み、彼らのライブは、とにかく客がよく笑う。

そのスタイルは、晋の好むブルック・ミュージックの影響だという。世界中で認められている「音だけがかっこいい」黒人のサックス奏者が、客を楽しませるためにコミカルな仕草をしたりする。「あれだけの人がやってるんだから、(自分も)やんなきゃだめじゃん。」晋は思った。エンターテイメントをやりたい。その修行をやらなければ。Misato&Shinがストリートで歌い始めた一番の理由である。

初めて二人が路上ライブをやったのは、一九九七年三月。このとき、足を止めて聴いてくれた人は一人もいなかったという。このときばかりではない。始めて半年ぐらいいは、彼らの前に人が集まることはほとんどなかった。しかし、「誰も止まらなくても、三年は続けよう」と二人は心に決めていた。彼らの師匠的存在であるストリート・ミュージシャン、Tandem Liveが、そのときすでに路上活動三年目を迎えていたからだ。

Misato&ShinはTandem Liveからこのアドバイスを受けていた。「同じ場所で、同じ曜日、同じ時間にやること。そして、衣装を着て、譜面を見ずに立って歌うこと。」
これらを全て実行した。どこが悪いのか、毎回試行錯誤した。そうして路上ライブを続けるうち、少しずつ、繰り返り返し聴きに来てくれるファンも増えてきた。

そして路上で歌い始めて四年目、青葉通りでは名も知られ、客もコンスタントに集まるようになっていた頃、「月のうた」(作詞・作曲/Shin)が静岡の就職情報誌「JOB」のテレビCMソングに起用される。続いて、Misato&Shinを取り上げたテレビ番組がゴールデンタイムに放送されると、彼らの人気は急激に上昇、一時は路上ライブに百人以上が集まる過熱ぶりとなった。

「僕の座右の銘は、『継続は力なり』
ライブの中で、バラード曲「Sweet Sweet Surrender」(J.Beck, T.Boget, C.Appiceのカバー)を歌う前に晋が言う決まり文句である(最近は「つきたてお餅の心もち」というのもあるが)。Misato&Shinの活動は、その言葉を地で行っている。
「継続の力」は、本人達の人気と実力を押し上げていっただけでなく、周囲にも飛び火した。

静岡のストリートにはエンタ

ーテイメント性の高いライブをするミュージシャンが多く見られるが、これは二人の影響によるところが大きい。ミュージシャンだけではない、ジャグラー系の大道芸人達も、彼らから大いに刺激を受けている。「自分の住んでるまちが、もつと面白くなったらいい」という二人。その思いは、少しずつ、でも確かに、日常の街の風景を変えている。

Misato&Shinのライブの最後の曲は「I'll Be There」(Marian Careyのカバー)。
背髄から溶けるような夏も、寒さが痛さに感じる冬も、足を止めて聴く人がいなくとも歌い続けてきた二人だからこそ、この曲のメッセージが、聴く者の心に染みる。
「私はずっと、ここにいますよ。」
* * *
Misato&Shin 静岡市青葉通りで、毎週日曜日に路上ライブ。午後二時〜四時ぐらい。
<http://village.infoweb.ne.jp/~gon>

page/ 写真[Hiromi]文[カミ]



其之一

皆さん、はじめまして。こんにちは、ダブルキンです！
僕達ダブルキンは、静岡市の伊勢丹前や青葉公園でしばしば大道芸をしています。
大道芸は、芸をする人間と、芸を見る人間がいて成立します。

皆さんは、ふと街中で大道芸に遭遇したとき、どう思うのでしょうか？
「うわ、なんかいる」
「おお、何かやってる」
「なんだあの光は」
とか、きつと何か思うことはありますよね？
では、僕達は、街中を通行中の皆さんをお客さんとして迎えるとき、どんなことを考えているのでしょうか？
「この人は喜んでくれるかな」
「楽しんでくれるかな」
「今コマかな」
とか、大体いつもこんな感じですよ。

- 僕達の芸を見ている人は、これまでの傾向として次のように大きく分類できる模様です。
- ①座ってくれる人：途中で帰ることはまずない
 - ②腕を組んだり外したり繰り返す人：最後まで見てくれる人が多い
 - ③きよとんとして立ち止まってる人：なんとなく見てる人が多い
 - ④首だけこつちを見てる人：すでに帰る態勢
 - ⑤僕達にリアクションを求められ逃げちゃう人：今度は後ろから見てたりする
 - ⑥ゆっくり椅子に座って眺めてる人：伊勢丹のロイヤルホストの二階にいる
- さらに細かく分類することが可能ですが、それはまたの機会です。
- 僕達の芸を見るだけじゃなく、ときどき両隣の人の様子もつかがうのも、けっこうおもしろいかも？ですよ。
ぜひ今度お試しください。

【あまる】

* 大道芸いんぷお *

青葉公園(静岡市役所前)

「しずおか大道芸のまちをつくる会」がサポートします。

9月は、「こちら☆111」

9/1(土)	ダブルチキン
9/15(土)	ダブルチキン 彦一団子
9/23(日)	彦一団子
9/24(月)	あまる

ダブルチキンさんは、若手ですが大道芸には手を抜かない2人組。(あまるさんは、その片割れ！)彦一団子さんは、お団子屋さんと思いきやプロのジャグラー。いずれも午後1時頃に開始です。ぜひぜひ応援してくださいねっ！

・・・変更の可能性もあるので見に来ていただける方は、前日ぐらいい問合わせからの方が無難です。

お問い合わせは、「このコーナー最下記」まで。



ストリートミュージック

空の下でのパフォーマンスは全て大道芸！ゆくりストリート・ミュージックもいっすね。

☆足踏	毎週金曜日、夜 青葉公園 etc.
☆ラプトルズ	毎週土曜日、午後4時、 青葉公園
☆グリゲラ	毎週土曜日、午後8時～11時 (9/15(土)→9/14(金)に変更) 静岡駅前地下道 etc.
☆Misato&Shin	毎週日曜日、午後2時～4時 (10/7、21はお休み) 青葉公園

・・・こちらもお問い合わせいただいてからの方がいいかも。

もちろん日常の風景の中だけでなく、こんなところでも大道芸を楽しめます。

アクトシティ浜松

午後1時～1時30分、
午後2時30分～3時の2回

9/9(日)	ブルー・デイスカベス (パイオリンと操り人形を使ったパフォーマンス)
9/30(日)	チャイナ・ニエ (中国雑技)
10/14(日)	クローン Lot.No-0067 (パントマイムシアター)
10/28(日)	テリフプレス (バルーンパフォーマンス)

見終わったら、ぜひ芸人さんに「おもしろかったよ」とか声をかけてみてくださいね。投げ銭の時に、たったひとことの良いんです。それが彼らのエネルギーになるはずだから。

大道芸予定に関するお問い合わせ

せは (E-mail)

hitomi--n@lycos.co.jp せは

【Hitomi】

パフォーマー募集！

当会では、青葉通り(静岡市役所前)でパフォーマンスを披露してくれるパフォーマーを随時募集しています。プロ、アマ、ジャンルは問いません。

お問い合わせ等、お気軽にどうぞ！

お申込み・お問い合わせ：ひこ

E-mail: hikoz@tokai.or.jp

TEL/FAX: 054-281-9776

サポーター(会員)募集！

当会は、静岡の街中で日常的に大道芸を楽しめるまちづくりを目指しています。

会の活動を応援してくれるサポーターを大募集中です！サポーターのみなさんには、会報『しずおか大道芸しんぶん』をお届けします。年会費は、一口五百円(年度単位)で、お一人様何口でも！

お申し込みご希望の方は、左記までご連絡ください。追って申込書をお送りします。

お申込み・お問い合わせ：テグチ

E-mail: miyu2791@hotmail.com

TEL/FAX: 054-643-8892

◆編集後記◆

なんとか創刊できました。細かい作業を一手に引き受けてくれたHさん、ありがとう！大道芸をいつでも見られるまちに近づこうに、みんな、頑張ろうね。【さりた】

いちばん大変だったのは、犬のところでね。夜中に犬の男が必死に吠えて犬を描いて...ふと我に返ったとき、胸の中にそよ風が吹き抜けました。大まかな作業を一手に引き受けてくれたSさん、ありがとう！【ひじ】

みなさんからの「意見・ご感想」投稿、お待ちしております！

しずおか大道芸しんぶん
創刊号
二〇〇一年九月十二日発行
発行部数三〇〇部

編集・発行

しずおか大道芸のまちをつくる会編集委員会

しずおか大道芸のまちをつくる会
(代表) 伏見典晃

T: 421-0133

静岡市鎌田 318-2-203

電話: (054) 257-5011

http://members.tripod.co.jp
/daidogeti_machizukuri/dai
dogeti_machizukuri